



まちづくり協議会の地区集会（9中学校区）への参加を終えて

今年度はコロナ感染症対策として、まちづくり集会は全地区開催を止め、中学校区ごと役員のみ的人数制限を設けての開催になりました。

議員も「地元優先での参加」が求められ、私は東中学区以外は自宅でオンライン視聴しました。ネットから全地区の集会在動画配信されています。市民みんなでいろいろ考えられるといいなと思います。

地区集会動画



まちづくり協議会のあり方

・区長会は自治組織として自律した組織であり、まち協は市民自治条例に基づいた協議会である。地区に任せるとは任せて地域の自主性が発揮できるよ
うな予算配分に（北）
・コロナの中行事もできなかった。来年を模索している（桜ヶ丘）
・町中と周辺、大きい地区と小さい区の課題が違う（原野谷・大浜）

防災

ほぼ全ての地区で意見が

- ・内水氾濫への対応
- ・防潮堤や水門高台避難
- ・土砂災害復旧
- ・水害時の避難所
- ・河川の護岸管理 など
- みんな不安を抱え、しつかりとした対処を望んでいます。

市の回答

流域治水の考え方で全体としてどう災害を防いでいくかの計画を立てていく。



学校の統廃合再配置計画

- ・地域作りの観点も持ち、話し合う場を（栄川）
- ・小学校のなくなった後、他の機能はどうなるのか（城東）

市の回答

中学校単位で。少人数学級、教科担任制なども視野にいれて考えていく。来年に向けて地区説明などで公にしてい
く。一番進んでいる原野谷から進める。廃止した施設に原則税金は投入しない。

コロナ対応

- ・感染の情報開示をしつかりしてほしい（北 大浜）
- ・減収の中、助成制度などは（西）
- ・感染予防は（城東）

市の回答

従来の医療に影響が出ないように、感染症を押しさえ込むことは優先課題である。3割以上が減収になっている。飲食を含めた中小への支援も大切。

地区の活性化への熱い想い

- ・河井弥八記念館の周知、西山口の土手も緑の精神回廊に。踏切改修を早く（東）
- ・イノシシの駆除を猟友会任せにしないで市として責任もって（桜ヶ丘）
- ・公共交通や生活支援車などは今後どうしていくのか（城東）
- ・空き家対策や移住対策は（北）

大規模地区(世帯数)		小規模地区(世帯数)	
桜木	3644	東山	110
西山口	2622	原泉	167
南郷	2591	原田	434
西南郷	2382	倉真	451

まちづくり協議会といってもこんなに大小が…

※地区集会で出された意見の一部を紹介しました。

私の想い

市長も伝えることが一番大事だとあちこちで言っていました。ただ先に市が決めて伝えるのでなく、決める前に伝えて市民意見が反映されることを求めたいです。

まちづくり協議会の問題は、下からの自主的なまちづくりを市が支えるのか、公のできないことを地区に任せるため、行政の下請け機関としてまち協を組織するのが問われているのでは？
元気なまちには元気な地域活動とそれを支える行政の姿勢が不可欠です。



ツワブキ